



125th
Anniversary
since 1900

相模女子大学日本学国際研究所主催 紀伊國屋書店アカデミック・ラウンジシリーズ

♪!?

相模女子大学日本学国際研究所と学ぶ・知る・考える vol.3

マンガが描く 少女マンガ家

～少女漫画をめぐるイメージの変遷

相模女子大学学芸学部メディア情報学科 教授

相模女子大学日本学国際研究所 研究員

いわした ほうせい

岩下 朋世

2025
1/26
SUN

14:00 ～ 15:30 (開場 13:40 ～)

紀伊國屋書店新宿本店 3F
アカデミック・ラウンジ

参加無料・入退場自由

事前に二次元コードよりお申込みをお願いいたします。

(ご予約なしのお客様も立ち見にてご参加いただけます。)



マンガ家が登場するマンガのことを「マンガ家マンガ」と呼んだりします。日本でもいまや一大ジャンルと言えるほど多くの作品がありますが、それだけでなく北米やヨーロッパでも、作家が自身のアイデンティティやトラウマと向き合う自伝的スタイルのマンガは注目を集め多様な作品が生み出されている状況です。そんな「マンガ家マンガ」の中でも、「少女マンガ家」が出てくる作品に焦点をあてて、少女マンガをめぐるイメージがどのように変わってきたかを見てみたいと思います。



いわした ほうせい 岩下 朋世

相模女子大学学芸学部メディア情報学科 教授
相模女子大学日本学国際研究所 研究員

1978年、鹿児島県生まれ。

主な関心領域は少女マンガの表現と歴史、キャラクター論。

著書に『少女マンガの表現機構——ひらかれたマンガ表現史と「手塚治虫」』（NTT出版、2013年）、
『キャラガリアルになるとき——2次元、2・5次元、そのさきのキャラクター論』（青土社、2020年）。



会場・アクセス

紀伊國屋書店新宿本店3F アカデミック・ラウンジ

JR「新宿」駅東口より徒歩3分

地下鉄丸ノ内線・副都心線・都営新宿線

「新宿三丁目」駅B7出口より徒歩1分（地下道より直結）



相模女子大学日本学国際研究所とは...

相模女子大学日本学国際研究所は、学術研究の拡充と活性化、さらにその成果を国内外に発信する拠点として、2024年4月に開設しました。

本学には人文科学系・社会科学系・自然科学系の教員が在籍し、その研究領域も多岐にわたっており、幅広い研究が豊富に蓄積されています。異なる観点を持つ研究者を多く擁した本学ならではの特性を活かしながら、「日本」を海外からの視点を交えて見つめることで、日本研究の新たな意義を見つけ、国際的な研究を推進します。同時に、研究成果を世界にあまねく発信することによって、本学が注力してきた社会貢献活動にも寄与できると考えます。

世界の側に立った視点で日本を見つめ、日本の立場に立っては見えない日本を見つける、本研究所の成果にどうぞご期待ください。

相模女子大学日本学国際研究所 siijs@mail2.sagami-wu.ac.jp

相模女子大学 <https://www.sagami-wu.ac.jp/125th/>

研究所
HP



大学
HP

